

第72回定期大会

あらゆる差別と分断に反対し、

全ての仲間と連帯して働きがいのある職場をつくろう！



発行所 東京都千代田区霞ヶ関 財務ビル内(〒100-0013) 全国税労働組合 発行人 山本 浩二 電話 (03) 3581-3678 FAX (03) 3507-0886 振替口座 00140-2-68514

“税務の職場” 何でも110番 zenkokuzei@aol.com 全国税は、職場で起こった問題を解決するため「税務の職場、何でも110番」を常時設置しています(電話とFAXは上記の番号までどうぞ) 全国税ホームページ http://www.kokko-net.org/zenkokuzei

全国税は8月23日から24日の日の2日間、東京都内で第72回定期大会を開催しました。大会には延べ158名が参加し、賃下げ違憲訴訟の闘い、管理運営事務や調査・徴収事務の問題点、パワハラによる人権無視の現状が報告されました。2日間の討論を受け、職場の仲間に対し、全国税の運動と組織への参加を訴える大会宣言を満場一致で採択しました。職場の皆さん、引き続き全国税へのご支援をお願いします。

来賓のあいさつ

大会は労働歌合唱から始まり、冒頭志し半ばで亡くなった2人の組合員大野 仁(東海)さんと西原 靖啓(近畿)さんに黙祷をささげた。大会議長に館代議員(東京・中支部)と、上田代議員(近畿・京滋支部)が選

任され、2日間の熱い議論が始まった。戦争する国作りに20、30代の七割、109の自治体が反対の意思表示をしている。違憲訴訟は10月30日に判決があるが、勝利判決に向け引き続き署名活動に取り組んでほしい。憲法が生きる社会、誰

もが安心して働ける社会を共にめざしましょう！ 税関でも労働強化 全税関松崎書記長 国税のe-Tax同様27年度からIT化が導入され、今まではインボックスでの手作業業務が、画面処理に変更される。また、入管事務の24時間化による労働強化から、メンタルで悩む職員や不祥事があとを絶たない。同じ悩みを共有し、これからも奮闘していきたい。



阿部委員長あいさつ

原発再稼働反対や憲法9条の改憲に反対し日本の平和を守る運動などの国民的要求の前進のために多くの行動に結果してきました。これらの行動は大きな広がりをもって継続されています。国産別別の課題では、「賃下げ反対」の旗を掲げ、裁判闘争にも結果してきました。裁判の結審は10月ですが、この裁判の成果で給与臨時特例法の期限の3月末で7.8%の賃下げをやめさせることができました。残念ながら現給保障が打ち切られたために完全には元に戻りませんが、延長は許しませんでした。国税部内での要求では、管理運営部門の相談切り離し、個人、法人の調査件数の削減、確申期での労働強化反対を掲げ当局に是正を求めてきました。来年以降、消費税8%、さらには10%と上げられるにつれて、滞納増加も想定されます。民主的な税制を実現させる課題とともに部内の労働強化反対のたたかいを進めていく必要があります。7月の人事発令では全国で4名の6級ポスト発令を勝ち取りました。昨年に比べ発令数は半分になっています。しかも、定年まで残り9ヵ月の組合員には発令がありませんでした。当局は差別是正の姿勢に立っていません。一年間のたたかいの成果も出ています。配転では、北海道で「昨年共働き職員が地方にとばされたが、今年は是正があった」「遠距離通勤が一年で解消された」など歓迎の声が上がっていることが報告されています。全国一劣悪な配転に対し、地連が闘ってきた成果です。本部機関紙でも取り上げました。再任用者の給与格付けについて前進を勝ち取りました。無年金期間が生じることから今までの3級のみから4、5級にも拡大させました。6級特官についてはそのまま改善とは評価できませんが、4級以上の定数拡大、運用について差別は許さないという姿勢で要求をし続けていきたいと考えます。



第31回全税支部協議会定期大会であいさつする阿部代表委員

第31回「全国税・沖縄国公労全税支部協議会定期大会」開催

反戦平和・労働条件改善・組合差別解消でさらなる前進を

23日、協議会を結成している全国税・沖縄国公労全税支部の定期大会も開催されました。大会には、全税支部から、後間書記長(協議会評議員)が参加し、沖縄の職場の状況や、基地問題について発言がありました。管理運営部門では新人が8名採用され3署に配置されましたが、職員比では25%を占め、事務に闘いの中で管運の職員がカンパを寄せてくれ、責任組合として奮闘しています。人権に対しては、来年4月からの3%賃下げは中央と地方の分断であり、大型はがき抗議行動に取組み、反対していく。辺野古移転反対闘争では、今日も2,000人規模の集会が開催され、国公労もバスをチャーターして一日行動しています。全国からの応援をお願いします。

詰碁 8月15日は「戦後」の起点として国民には認識されているが9月2日は目頭が熱くなる。「大日本帝国」降伏の日であり、欧米諸国のVJデーだ。翌3日も戦争末期のドサクサに国境を侵したソ連や中国の戦勝記念日▼東南アジアでは、戦勝国に再び占領され、タイ王国を除き植民地へと戻った日でもある。これらの国々の民衆はベトナム戦争に代表される独立戦争を自ら起こし、1950年〜1960年代にかけて独立を勝ち取った▼この日を境に近代と現代を区別する国も多いが、日本では知るひとが少なくないのは、マスコミの意図的な操作のため▼こうした意義深い日にこそ冷静に歴史を俯瞰して、民間交流の在り方を考えたいものだ。

来賓の方々

国公労連九後書記次長 全税関松崎書記長

団、年金者組合、国民救済会、全商連、総理府労働、農民連、全農協労働、全司法、通信労組、全日赤、全印総連、中央労金、全医労、航空労組連絡会、特殊法人労連、建交労、日高校、国民奮闘共闘、新婦人、国税中国、全労働

寄せられたメッセージ

